

福岡市立曲渕小学校

テーマ よい子の広場の生き物を調べよう

調査の実施方法

- 期 間 2016年10月1日～10月27日
- 場 所 曲渕小学校側「よい子の広場」(裏山)
- 手 順 1)総合的な学習の時間に図鑑やインターネットを使って、福岡県の植物や鳥について調べました。
2)森林インストラクターと一緒に「よい子の広場」の植物や鳥を観察しました。

見つけた生きもの・コメント



イヌホオズキ

「よい子の広場」の山の斜面にありました。茎は30cmくらいでまっすぐ伸びています。白くてかわいい花が咲いていました。アメリカイヌホオズキと似ているので、葉の形や花の色で区別します。



クズ

「よい子の広場」にある木に巻きつく様に生えていました。繁茂力が高く、北海道から九州の日本各地で見ることができます。日本では、昔から食用や薬用として利用されています。この植物の大きくなった根からデンプンをとったものが「葛粉」です。



ジョウビタキ

学校のベランダから「よい子の広場」を観察している時に、飛んできました。網の上に乗っていて、カメラを近づけても全然逃げようとしませんでした。低いひらけた山を好む冬の渡り鳥ですが、曲渕は福岡県のほかの地域より寒いので、秋に見ることができたようです。

気が付いたこと、わかったこと、みんなに伝えたいことなど

周りを自然に囲まれた曲渕小学校では、春には、たけのこ掘りをしたり、秋には、苗から育てたサツマイモの芋掘りをしたりしています。今回、森林インストラクターの先生と一緒に「よい子の広場」を歩いてみて、それら以外にも普段はなかなか気づかないけれど、美しくてめずらしい植物がたくさんあることを知りました。このような植物がいっぱいある場所だからジョウビタキのようなかわいい野鳥を見ることができるのだと思います。

これからも学校のみならず、地域の人たちと協力して曲渕の豊かな自然を守っていききたいと思います。

